

「民都・大阪」  
フィランソロピー会議  
共創（子ども）分科会

発表者

大阪府子ども家庭サポーター  
社会福祉士・保育士  
辻 由起子



# 子ども家庭支援に関わる団体・個人

- 8/7
- 9/26
- 10/26
- 11/2
- 12/7
- 全5回にわたり議論



# 呼びかけ人と参加団体

〈呼びかけ人〉

- 施 治安 「民都・大阪」フィランソロピー会議メンバー  
「大阪を変える100人会議」顧問

- 辻 由起子 大阪府子ども家庭サポーター  
社会福祉士・保育士・前茨木市市政顧問

- 伊藤嘉余子 大阪府立大学教授・博士（社会福祉学）  
大阪府/堺市社会福祉審議会委員・大阪市児童福祉審議会臨時委員



- 認定特定非営利活動法人D×P
- 認定特定非営利活動法人 ノーベル
- 一般社団法人 Collective for Children
- 株式会社 ヒューマンハーバー 良心塾
- 特定非営利活動法人 にしよどにこネット
- 特定非営利活動法人 西成チャイルド・ケア・センター
- 特定非営利活動法人 日本こども支援協会
- 特定非営利活動法人 メリーミーズ merry me'ズ
- 特定非営利活動法人 大阪NPOセンター
- 社会福祉法人 みおつくし福祉会 母子生活支援施設東さくら園
- 社会福祉法人 大阪西本願寺常照園
- (株) ハッピーシェアリング (シングルマザー支援団体)



はじめに

私たちは、大阪の子どもとその家族をとりまく問題を解決すべく、それぞれの現場で日々奔走している個人・団体の集まりです。

「子ども」「親」双方の立場から、子どもや家族が直面している多様な問題の根本解決に向けて、アドボカシー活動を展開しています。

それぞれの活動内容は多種多様ですが、活動を通して見えてきた課題をそれぞれが持ち寄り、集結させ、またそれらを分析・検討することによって、子どもと家族の未来を明るくものにするための提言をとりまとめるべく、これまで会議を重ねて来ました。

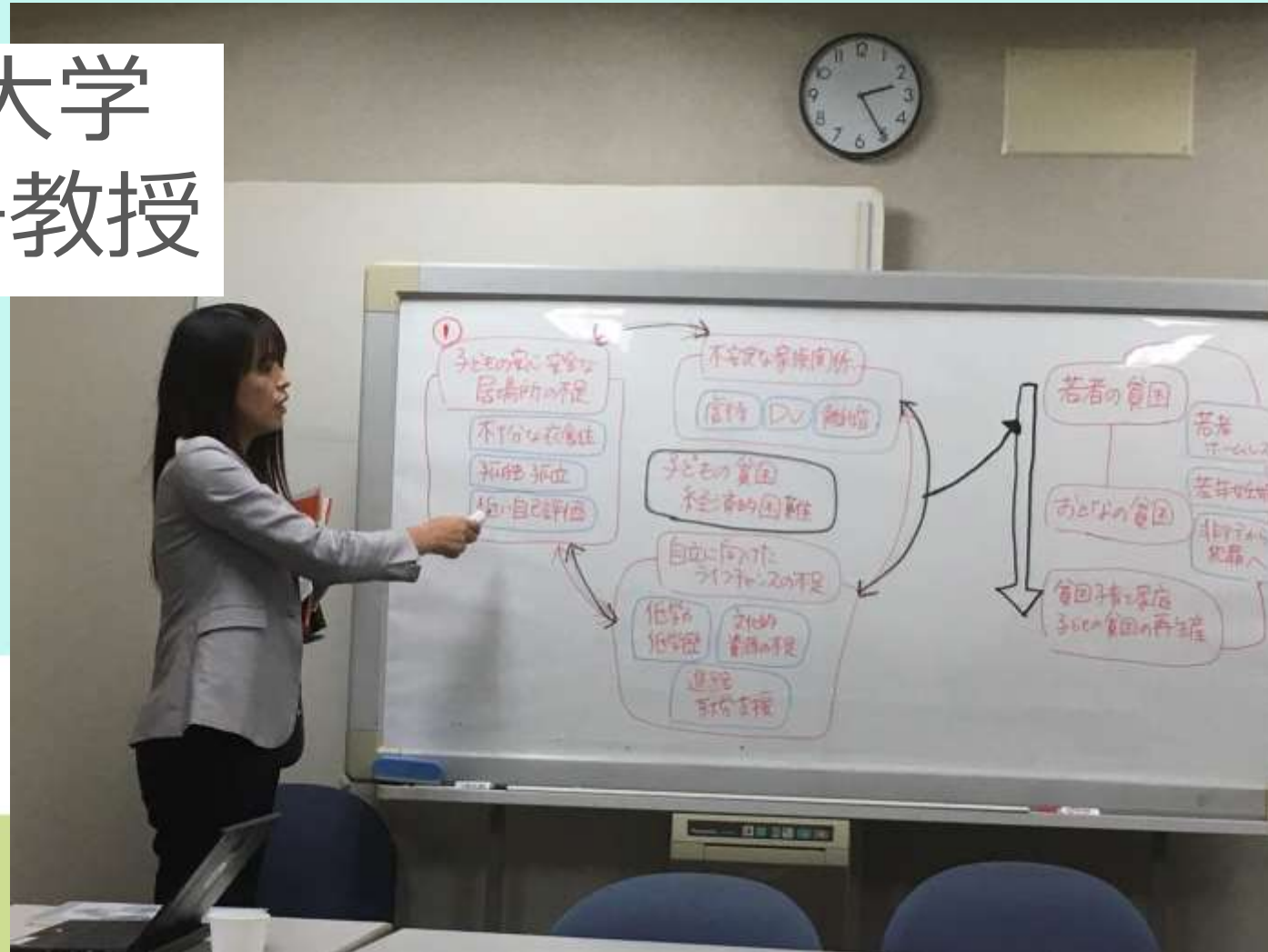
また、会議を通して現場の声だけではなく、行政・政治の取り組みを知り、意見交換を行う必要性を感じたため、各方面の協力を得て、そのような場も設け、議論を重ねました。



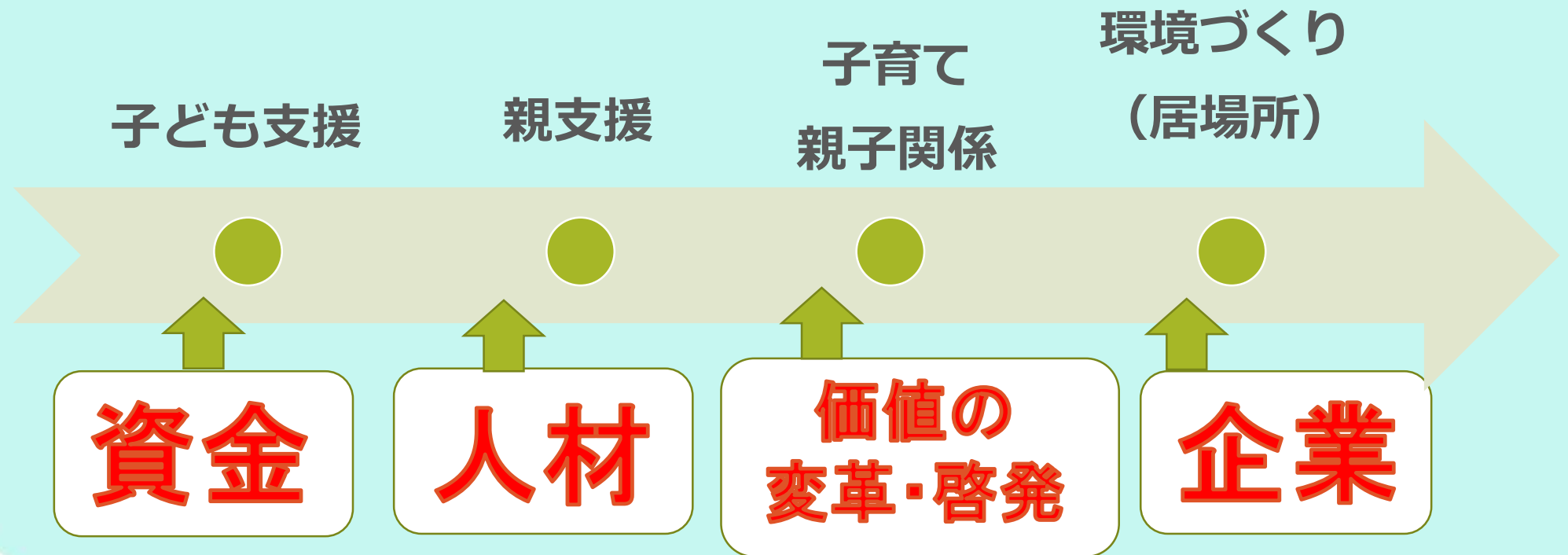


プレーヤーだからこそわかる。  
「絵に描いた餅」で終わらせないやり方。

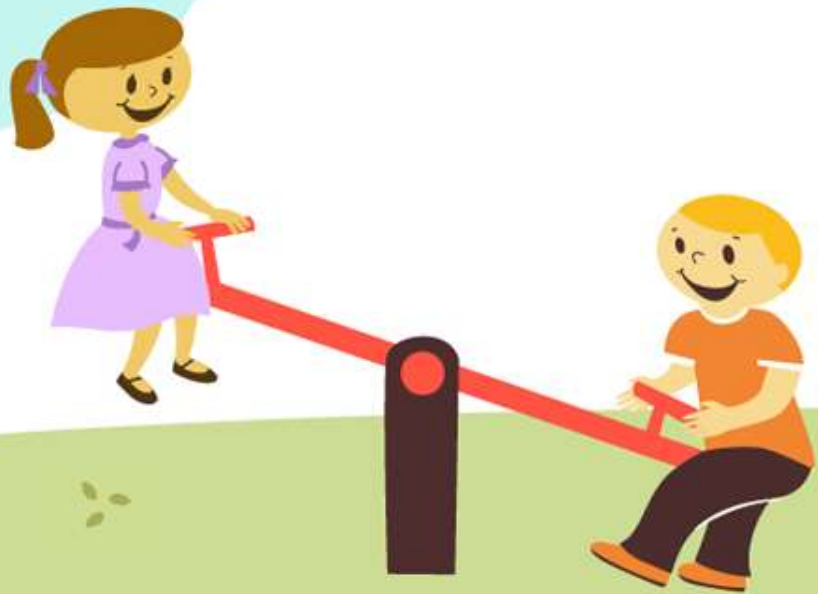
大阪府立大学  
伊藤嘉余子教授



# 持続可能な子ども・子育て支援



誰かの意見にかたよるのではなく  
必要な意見をバランスよく取り入れる







私たちの呼びかけに、  
市議会は超党派で参加。  
区長や教育委員会顧問も  
参加。  
それが出来るのは  
実績のある市民の集まり  
だから。



～すべての子どもと家族の笑顔と満足の実現に向けて～  
チャイルド&ファミリー  
6Sプロジェクト

- 安心・安全確保 セーフティ・セキユア
- 安全網 セーフティネット
- 解決 ソリューション
- 満足 サティスファクション
- 自己肯定感 セルフエスティーム
- 笑顔 スマイル



# 課題

- ①行政との協働は年度単位になり関係性が積みあがらない。職員には異動がある。
- ②助成金・補助金は書類や手続きが煩雑で活動の妨げになる。しかも多くの助成金が、事業費は出ても人件費が出ない。
- ③そもそも営利活動ではないので運営費・人件費が課題。



一人ひとりの「笑顔」と「満足」を目的にしたら  
所属の枠を越えて議論・協力できる。今後、このような場を増やしていく。

チャイルド&ファミリーサポートから  
まちのつながりをつくる  
わかちあえる関係をつくる

一人ひとりに居場所と出番を

子どもの未来はみんなの未来

